

「ニーム協会」 勉強会のご案内

近頃、テレビや新聞の報道を見ていると、TPP と原発の問題が多く扱われています。今回は、戦後から日本の農業政策に携わられた石見尚先生、ならびに、日本の原発一号及び敦賀第一原発建設に GE-BWR として参加し、大飯原発 1、2 号炉 WH-PWR の WH 供給機器を担当された浦山欣二先生がお話し下さいます。さらに浦山先生は、GE, WH に籍を置きながら、日本の原発に 30 年以上関わってきた、原発の生き字引といえる存在です。

日時： 平成 26 年 6 月 24 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分（開場 13 時より）

場所： 渋谷区立勤労福祉会館 第二洋室 [地図](#)
渋谷区神南 1-19-8 tel 03-3462-2511

参加費： 3,000 円（当日受付にてお願い致します）

お申し込み方法： F A X またはメールにてお願い致します [F A X 申込用紙](#)
メールアドレス info@nihon-neemkyokai.com

【 ゲスト講師 】

講師： 石 見 尚 氏 テーマ 「TPP とニーム」
略歴

1925 年 和歌山県生まれ 東京大学農学部卒 農学博士

大学卒業後、農協の全国団体に勤務、その後、国会図書館調査立法考査局に転職し、十年間は農林課で農林業問題の調査研究に従事し、あとの十年は国土交通課で国土開発と都市問題の調査に携わる。二十年間で公務員を辞め、全国を対象とする（財団法人）農村開発企画委員会の主任研究員、常務理事として、農村の地域振興のコンサル業に十年間携わる。その間、1973 年、バンクーバーで開催された国連人間居住会議に参加し、世界には G7 の資本主義の大国主導体制やソ連東欧の社会主義とは別の、シューマッハ思想を基調として、人間性の回復と環境保全を基礎とする世界秩序を志向する思想が広く台頭している現実を知った。1980 年代以降、第 3 の思想を推進する国際的市民派の T O E S（もうひとつの経済サミット）の日本側のオルガナイザーとして活動してきた。ニームとの出会いは、その過程であった。

講師： 浦山欣次氏 テーマ 「日本の原発」

略歴

1972年 米国より帰国後、GE/GETSUCO, JAPC II（日本原子力発電 KK, 第一原発）建設, GE-BWR

1973年 大飯原発 1, 2 号炉, WH-PWR の WH 供給機器を担当

1974年 米国ペンシルバニア州モンロービル市 WH-WRD, Systems Operations

1978 年 WH-EMD, LMFEBR Pump

1981 年 WH-WRD, Project Engineer

1985年 帰国, WH Tokyo Project Engineer

2013 年 Plant system Engineering

- * 会場の都合上、定員 40 名とさせていただきます。（お申し込み順）
- * 急遽講師変更の場合にはご容赦下さい。
- * **当日、ニームの苗をお土産に用意させていただきます。**

*お問い合わせ： NPO 法人 日本ニーム協会 事務局

TEL 03-5784-3425 / FAX 03-5784-3429

MAIL info@nihon-neemkyokai.com

<http://www.nihon-neemkyokai.com/>